



2019年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社パルマ
 コード番号 3461 URL <http://www.palma.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 茂久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 上村 卓也

TEL 03-5501-0358

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第3四半期の業績(2018年10月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第3四半期	1,685	62.0	120	31.7	109	24.1	73	23.1
2018年9月期第3四半期	1,040	3.4	91	23.6	88	23.6	59	29.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第3四半期	11.90	10.94
2018年9月期第3四半期	10.68	9.61

(注) 当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2018年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第3四半期	4,362	1,689	38.7
2018年9月期	3,064	1,641	53.6

(参考) 自己資本 2019年9月期第3四半期 1,688百万円 2018年9月期 1,640百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期		0.00		10.00	10.00
2019年9月期		0.00			
2019年9月期(予想)				6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2018年9月期については、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しております。また、2019年9月期については、当該株式分割を行った影響を考慮しております。

3. 2019年9月期の業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,774	44.2	410	25.9	400	24.4	280	24.5	45.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期3Q	6,209,600 株	2018年9月期	6,137,600 株
期末自己株式数	2019年9月期3Q	208 株	2018年9月期	208 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期3Q	6,190,666 株	2018年9月期3Q	5,602,458 株

(注) 当社は、2018年8月1日付で普通株式1株につき2株の割合で、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2018年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示変更について)

第1四半期会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間において、セルフストレージ業界は、前事業年度から引き続き、国内外の機関投資家及び事業会社が首都圏のビル型セルフストレージへの投資を積極的に進めており、セルフストレージマーケットは、建物型セルフストレージを中心に、引き続き堅調に拡大しております。

このような事業環境におきまして、当社は、セルフストレージ業界で唯一の事業者向けフルサービスのソリューションプロバイダー及び投資家向けのプロパティマネージャーとして、セルフストレージビジネスに関するさまざまなソリューションを提供してまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は1,685,082千円(前年同四半期比62.0%増)、営業利益は120,005千円(前年同四半期比31.7%増)、経常利益は109,706千円(前年同四半期比24.1%増)、四半期純利益は73,665千円(前年同四半期比23.1%増)となりました。

当社は単一セグメントのため、セグメントごとの記載はございません。サービス別の概況は以下の通りであります。

(ビジネスソリューションサービス)

当サービスは、セルフストレージ事業会社向けに滞納保証を付加したアウトソーシングサービスを提供するものであります。当第3四半期累計期間におきましては、新規取引先からの受託件数の増加に加え、ターンキーソリューションサービスで開発したセルフストレージからの受託件数も順調に増加し、引き続き堅調に推移しました。以上の結果、売上高は579,276千円(前年同四半期比8.6%増)となりました。

(ITソリューションサービス)

当サービスでは、セルフストレージ事業者における業務効率化のためのITシステム開発・運用を行っております。当第3四半期累計期間は、セルフストレージWEB予約決済・在庫管理システム「クラリス」の導入室数が順調に増加しました。しかしながら、当期首より売上高の一部をビジネスソリューションサービスの区分に変更したため、売上高は18,101千円(前年同四半期比12.7%減)となりました。

(ターンキーソリューションサービス)

当サービスは、投資家及びセルフストレージ事業者向けにセルフストレージ物件の開発、販売を行っており、セルフストレージ事業を直ちに稼働できる状態で提供しております。当第3四半期累計期間は、引き続きセルフストレージ開発用地の取得が順調に進みました。また、販売用セルフストレージ物件を4件売却した結果、売上高は1,087,704千円(前年同四半期比123.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前事業年度末と比べて1,284,979千円増加し、4,200,471千円となりました。これは主に仕掛販売用不動産が1,677,143千円増加、現金及び預金が466,120千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末と比べて13,066千円増加し、161,830千円となりました。

この結果、当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比べて1,298,045千円増加し、4,362,301千円となりました。

(負債の部)

流動負債は、前事業年度末と比べて1,172,836千円増加し、2,553,604千円となりました。これは主に短期借入金が214,325千円増加、1年内返済予定の長期借入金が1,050,608千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末と比べて77,768千円増加し、119,388千円となりました。これは長期借入金が77,768千円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比べて1,250,604千円増加し、2,672,992千円となりました。

(純資産の部)

純資産合計は、前事業年度末と比べて47,440千円増加し、1,689,308千円となりました。これは主に、剰余金の配当30,686千円、及び四半期純利益73,665千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の通期業績予想につきましては、変更はございません。

※上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,927,829	1,461,709
金銭の信託	1,350	1,350
売掛金	68,814	66,860
求償債権	229,104	262,107
仕掛販売用不動産	758,702	2,435,845
その他	17,343	99,201
貸倒引当金	△87,651	△126,603
流動資産合計	2,915,492	4,200,471
固定資産		
有形固定資産	4,249	3,933
無形固定資産	31,886	28,939
投資その他の資産	112,628	128,957
固定資産合計	148,763	161,830
資産合計	3,064,255	4,362,301
負債の部		
流動負債		
短期借入金	666,752	881,078
1年内返済予定の長期借入金	356,016	1,406,624
未払法人税等	75,858	213
前受収益	105,880	114,405
その他	176,260	151,283
流動負債合計	1,380,767	2,553,604
固定負債		
長期借入金	41,620	119,388
固定負債合計	41,620	119,388
負債合計	1,422,387	2,672,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	578,959	581,209
資本剰余金	489,408	491,658
利益剰余金	572,549	615,527
自己株式	△74	△74
株主資本合計	1,640,842	1,688,320
新株予約権	1,025	987
純資産合計	1,641,867	1,689,308
負債純資産合計	3,064,255	4,362,301

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)
売上高	1,040,405	1,685,082
売上原価	547,346	1,107,463
売上総利益	493,058	577,618
販売費及び一般管理費	401,937	457,613
営業利益	91,121	120,005
営業外収益		
受取利息	6	19
債権売却益	—	544
償却債権取立益	72	135
助成金収入	2,600	—
その他	45	37
営業外収益合計	2,724	737
営業外費用		
支払利息	5,425	11,036
営業外費用合計	5,425	11,036
経常利益	88,420	109,706
特別損失		
固定資産除却損	—	14
特別損失合計	—	14
税引前四半期純利益	88,420	109,692
法人税、住民税及び事業税	34,436	37,539
法人税等調整額	△5,840	△1,512
法人税等合計	28,595	36,027
四半期純利益	59,825	73,665

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)

当社の事業セグメントは、セルフストレージビジネスソリューションプロバイダ事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

当社の事業セグメントは、セルフストレージビジネスソリューションプロバイダ事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。